



頭の「けが」について

☆ 頭のけがは、「脳神経外科」を受診します。

頭を打ったり、けがをしたとき、病院を受診するかどうかの目安は、1分以上の意識消失、繰り返す嘔吐や吐気、全身けいれん、眼位置の異常、裂傷、切傷、刺傷による出血、増悪する頭痛、無気力状態の持続等の症状です。

通学、帰宅時の交通事故、スポーツ時の接触事故等、強度の頭部打撲は、昼夜問わず、119番で救急車を呼びましょう。症状のない場合も、24時間は安静でいましょう。まれに、受傷1-2か月後に、頭痛、吐気等の症状が出る可能性あることも知っておいてください。



☆ 脳震盪(のうしんとう)とは

脳震盪という言葉は聞いたことのある方も多いと思います。本学でもクラブ学生などが時々症状を訴えて来室してきます。脳が急激に揺れて動かされて起こる症状で、意識がなくなる、記憶がなくなる、めまい感がでる、バランス感覚がおかしくなる、頭痛、吐気、視野がぼける等の症状が出ます。接触スポーツ(柔道、空手、ボクシング、サッカー、ラグビー)等でよく起こります。

脳震盪は、3段階(軽度、中等度、高度)レベルに分けられています。

レベル1:軽度 記憶正常、一過性に意識が混濁するが、失神なし

レベル2:中等度 記憶障害、2分以内の失神、手足のしびれ、持続する頭痛吐気

レベル3:高度 2分以上の失神、中等同様の症状

軽度であれば数日の安静と頭部冷却で経過を見ます。一度脳震盪をおこすと次の打撲で脳震盪をおこしやすくなり、重篤になりやすいというセカンドインパクト症候群が知られています。中等度以上は、脳内に異常が発生している可能性があるため検査が必要です。最も危険な急性硬膜下血腫(脳と硬膜の間にずれができ、血管破裂し血腫が、脳を圧迫する)などは、緊急開頭手術が必要であり、命にかかわってきます。



保健室では、今まで様々な注意事項を口頭で伝えていました。しかし、事故やけがの直後は注意が散漫になっていることが多いことから、この度、下記の頭部外傷時の注意事項を書いた用紙を作成し、学生に渡すことにしました。

頭部打撲を安易に考えず、いつ、どこで、何と打撲したのか、打撲した部位、腫れ、陥没、擦り傷、切り傷の有無など確認し、早めに医療機関を受診しましょう。

頭部外傷の学生へ！

けがから 24 時間の間に、下記に該当する場合は、必ず脳神経外科病院に受診してください！

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1. 意識の低下 | 意識がだんだん薄れてくる、悪くなってくる |
| 2. 頻回の嘔吐 | 嘔吐、吐気がおさまらない |
| 3. けいれん発作 | てんかんのような発作、ひきつけ等 |
| 4. 手足の麻痺 | 手足に力が入らない、動かない、強いしびれがでてきた |
| 5. 激しい頭痛 | 我慢できないような痛み |

夜間は、救急車(119)を呼びましょう。

今後の症状、状態について心配事や不安があれば、下記まで連絡してください



大阪商業大学 保健室(月-金 9:00-18:00、土 9:00-17:00)
直通 06(6785)6014

